



『恋する男』公開記念

“恋する男” 映画祭

～女たちを愛した男たち～

<https://koisuru-otoko.com>

7月25日(土)～8月7日(金)
東京都写真美術館ホールにて

"If men in Love" Film Festival

© 1971 Mann Film & Workshop Productions Inc. All Rights Reserved.

上映作品

LINEUP



暗くなるまでこの恋を

La Sirène du Mississippi
監督：フランソワ・トリュフォー
1969年/フランス/123分/デジタル

仏領の島でタバコ工場を営む男の元へやってきた、写真見合いの花嫁ユリー。幸せな日々を送る二人だが、ある日ユリーが姿を消し……。J・P・ベルモンドとC・ドヌーブという2大スターが競演した、サスペンスタッチの愛憎劇。



恋愛日記

L'Homme Qui Aimait Les Femmes
監督：フランソワ・トリュフォー
1977年/フランス/118分/デジタル

多彩な女性遍歴を誇る脚フェチの中年男、ベルトラン。過去の関係を記したノートが出版されることになるが、彼の“女漁り”は一向にやまず……。男の究極の偏愛ぶりがおかしみを生む、トリュフォーらしい恋愛喜劇。



クレールの膝

Le Genou de Claire
監督：エリック・ロメール
1970年/フランス/106分/デジタル

避暑地アムシーで旧友の女作家と再会した外交官のジェロームは、作家のふたりの娘たちを誘惑する。少女の膝に執着する結婚間近の中年男。一見不道德な物語にも関わらず、あっけらかんとした官能性が光る。



恋する男

A Man in Love
監督：村田信男 出演：小木茂光 佐々木心音 出口夏梨沙 工藤俊作
2019年/日本/84分/デジタル

妻に逃げられた挙句、長年勤めた会社のリストラ対象となってしまった男、小田光男。勢いで独立することにした彼が出会ったふたりの女。ひとりとは夢を追いかける癒し系ホステス。もうひとりとは彼の仕事をサポートする才女。タイプの違うふたりの間で揺れ動き、心ときめき過ぎていろいろやらかしてしまう悲しい性の小田。はたして“恋する男”に本当の幸福はやってくるのだろうか……。すべての愚か者に勇気と誤解を与える(?)、とっても愛おしい大人の恋愛喜劇！



早春

Deep End
監督：イェジー・スコリモフスキ
1970年/イギリス・西ドイツ/92分/デジタル

職場の先輩である年上の女性に執心する15歳の少年の姿を通し、青春の焦燥感や残酷さをあぶり出すスコリモフスキの傑作。長い間観られる機会がなくカルトムービー化していたが、2018年にリバイバル公開された。



アンナと過ごした4日間

Cztery noce z Anna
監督：イェジー・スコリモフスキ
2008年/フランス・ポーランド/94分/デジタル

火葬場で働く孤独な男レオンにとって、向かいに住む若い看護婦アンナの部屋を覗き見することが唯一の楽しみだったが、それだけでは飽き足らなくなり……。スコリモフスキが17年ぶりに監督復帰した衝撃作。



イタリア式離婚狂想曲

Divorzio all'italiana
監督：ピエトロ・ジェルミ
1961年/イタリア/105分/デジタル

口うるさい妻と別れたくても法的に離婚できない没落貴族が、美しい17歳の娘と一緒にいるため妻殺しを企む。果たして彼の計画は成功するのだろうか。アカデミー賞の脚本賞を受賞したイタリア式コメディの代表作。



愛の果てへの旅

Le conseguenze dell'amore
監督：パオロ・ソレンティーノ
2004年/イタリア/104分/デジタル

ホテルに住み、ほぼ同じ毎日を繰り返す中年の男。彼の目的と正体は……。鬼才ソレンティーノ監督がその名を世界に知らしめた一作。スタイリッシュな映像美によって謎めいた男の孤独と奇妙な愛が描かれる。



人形

Lalka
監督：ヴォイチェフ・イエジー・ハス
1968年/ポーランド/153分/デジタル

美しい令嬢に心奪われた貿易商の旅。カンヌ国際映画祭で審査員賞を受賞した『砂時計』(73)のハス監督による大作。19世紀末に書かれたボレスワフ・プルスによる原作は、ポーランド国内では知らぬ者はないほど。



ポルト

Porto
監督：ゲイブ・クリンガー
2016年/ポルトガル・フランス・アメリカ・ポーランド/76分/デジタル

ポルトガル第二の都市ポルトを舞台に、家族に追放されたアメリカ人男性とフランス人留学生の一夜の関係を、過去と未来を交錯させながら描き出す。J・ジャムッシュが製作総指揮を手掛けていることも話題に。



アンナ

Anna
監督：ピエール・コラルニック
1966年/フランス/86分/デジタル

田舎からやってきたアンナ。広告代理店の社長セルジュは、ポスターに偶然写りこんでいた彼女に恋をし、パリ中を探し回るのが……。19年に惜しくも逝去したアンナ・カレーナの魅力が存分に味わえる傑作ミュージカル。



ミューズ・アカデミー

La academia de las musas
監督：ホセ・ルイス・ゲリン
2015年/スペイン/92分/デジタル

バルセロナ大学哲学科の教授がダンテの『神曲』を皮切りに、独自の女神論を展開。その講義の中で受講生や教授自身の内面が露わとなっていく。フィクションとドキュメンタリーの垣根を鮮やかに飛び越える意欲作。

「恋する男」公開記念

“恋する男” 映画祭

～女たちを愛した男たち～

愛した女に振り回され、裏切られ、たとえ人生を狂わされようとも、
ひたすらわが道を往く男たち。世間から疎まれようが嗤われようが、
男にとって女にすべてを捧げるからこそが至上の幸せ。

映画『恋する男』の公開を記念し、

そんな究極の愛の形を描いた名作の数々をラインナップしました。

7月25日(土)	11:00 恋する男	13:30 アンナと過ごした4日間	16:00 早春
7月26日(日)	10:30 人形	13:30 恋する男	16:00 イタリア式離婚狂想曲
7月27日(月) 休映			
7月28日(火)	11:00 アンナ	13:30 早春	16:00 恋する男
7月29日(水)	11:00 ポルト	13:30 クレールの膝	16:00 恋する男
7月30日(木)	11:00 恋する男	13:30 ミューズ・アカデミー	16:00 ポルト
7月31日(金)	11:00 イタリア式離婚狂想曲	13:30 恋する男	16:00 愛の果てへの旅
8月1日(土)	11:00 暗くなるまでこの恋を	13:30 恋する男	16:00 恋愛日記
8月2日(日)	10:30 人形	13:30 恋する男	16:00 アンナ
8月3日(月) 休映			
8月4日(火)	11:00 恋する男	13:30 恋愛日記	16:00 暗くなるまでこの恋を
8月5日(水)	11:00 アンナと過ごした4日間	13:30 クレールの膝	16:00 恋する男
8月6日(木)	11:00 恋する男	13:30 愛の果てへの旅	16:00 ミューズ・アカデミー
8月7日(金)	11:00 恋する男	13:30 恋する男	16:00 恋する男

最新情報については公式HP、
公式ツイッター等にてご確認ください。

公式  @a_man_inlove

公式HP: <https://koisuru-otoko.com>



twitter



公式HP

7月25日(土)～8月7日(金) 公開!

[7月27日(月)、8月3日(月)は休映] 舞台挨拶・イベント情報は公式HPをご確認下さい。

前売特別鑑賞券 1,000円(税込) 劇場窓口にて発売中!

※“恋する男”映画祭上映のすべての作品に共通で使用できます。但し、チケット1枚につき、ご鑑賞1回のみ有効
当日料金: 1,200円(税込) 均一

●午前10時より1F受付にて各回の受付を開始致します。●特別鑑賞券はご鑑賞当日に座席指定券と引き換えが必要です。●ご購入されたチケットの変更・取り消しはできません。
●ホール及び美術館内でのご飲食はご遠慮ください。



恵比寿ガーデンプレイス内 **東京都写真美術館ホール**

TEL.03-3280-0099 (代表) www.topmuseum.jp

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分

恋する男

小木茂光 佐々木心音 出口亜梨沙

鵜飼真帆 黒木映莉花 赤松由美 YUMIKA 平山綾菜
松井勇人 上西雄大 / 工藤俊作

製作：齋藤隆司 エグゼクティブ・プロデューサー：松井勇人、平山陽一、山形 誠
プロデューサー：山口正志、吉見ヒデキ、田山大悟 撮影：マチェイ・コモロフスキ

音楽：井出泰彰 スチール：池田岳史

脚本：村田信男、佐向大 編集監修：イエジー・スコリモフスキ

制作：エイチエムプラス 製作：ネスト、マーメイドフィルム

配給・宣伝：マーメイドフィルム コピアボア・フィルム

監督：村田信男

©2019 Nest/Mermaid Films



A man in love

二兎^{にと}追^おうものは、
三兎^{さん}も四兎^{よん}も追^おう。

